

2020年9月吉日

国際ロータリー第 2720 地区
2020-21 年度 クラブ会長・幹事 様
2020-21 年度 クラブ青少年奉仕委員長 様

国際ロータリー第 2720 地区
2020-21 年度 地区ガバナー 硯川 昭一
地区青少年奉仕部門長 開 克行
地区青少年奉仕副部門長 井上 邦広
地区青少年交換委員長 岡崎 利昭

青少年交換委員会プログラム, 青少年交換事業

高校時代に交換留学をする意義

- なぜ高校時代に留学することが重要なのか -

当地区はロータリー国際青少年交換プログラムに基づき、海外のロータリーと留学生の交換を行っています。この制度では、ロータリアンの皆様のご家族である高校生が交換学生(Exchange Youth)として一定期間海外のロータリアン或いはロータリーが推薦する家庭にホームステイしつつ現地の学校で学びます。

国際ロータリー(R.I.)は、ロータリー青少年交換に参加する恩恵についてこう説明しています...
<https://www.rotary.org/en/our-programs/youth-exchanges>

交換プログラムに参加すると、下記のような "本物の可能性" が開かれます:

- * 生涯にわたる対人リーダーシップを磨くことができる
- * 新しい言語と文化を学ぶことができる
- * 世界中の若者達と長きにわたる友情を築くことができる
- * "グローバルな" 市民となることができる

では、高校時代に交換留学プログラムに参加する "実利" にはどのようなものがあるのでしょうか? たとえば...

1. 英語をはじめ、派遣先の国や地域の言語能力が飛躍的に伸びます
(英語で言うと、英検準 1 級~1 級の実力はつきます)
2. ディベート、ディスカッション(クラスメートと意見を闘わせること)が学校の授業の中心となっているので、論理的かつ簡潔に自らの主張を相手に伝える能力がつきます。
(現地の大学、短大/ 専門学校に進学できるレベルに非常に近づきます)
3. 現地でのいわゆる "国語" の授業は、論理的思考に基づいた小論文作成や論説文の読み込み、更には各時代の中心となる文学作品の鑑賞が中核となります。従って現地語による圧倒的な読解/ 作文力がつきます。(同じく英語で言うと、英検準 1 級~1 級の実力はつきます)
4. 従って、帰国後の進学(大学受験)に大きく寄与します。特に語学/ 国際関係系の学部/ 学科への進学をお考えの皆さんには非常に有利になります。
5. また医歯薬系、理工系の学部/ 学科での学びとキャリアをご希望の皆さんにとっても、進学後の膨大な原語購読及び論文作成を考えると、海外の高校での学びが大いに役立つことは明らかです。
6. 留学先で少数派(マイノリティ)として、自らの存在感を示しながら周りに溶け込んで生活する術を覚えることにより、将来的海外留学や海外ビジネスへの基盤を自分の中に構築することができます。
7. 留学先の学校や受け入れ RC で日本全体や自分の地域の紹介をすることにより、日本や自分の住む地域についてより深く学び直すことができます。そのことが、国際人としての自分を育てることになります。

ちなみに野村総研は既に2015年12月2日付で、“10～20年後には日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能になる”と報告し、AIにより自動化しにくい仕事は“創造性と社会的知性の2つの要素を含んでいる”としています。例えばソフトウェア開発者、記者、教育者、弁護士、医師/ 歯科医師など高い社会的コミュニケーション能力を必要とする非定型業務であると指摘しています。

<https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/738555.html>

https://www.nri.com/-/media/Corporate/jp/Files/PDF/news/newsrelease/cc/2015/151202_1.pdf

更に、こらからの“VUCA(Volatility = 変動性, Uncertainty = 不確実性, Complexity = 複雑性, Ambiguity = 曖昧性)”に基づく、ものすごいスピードで変化する社会である“Society 5.0”に向けた大学教育と採用に関する考え方を明らかにする中で、日本経団連は2020年3月31日に文系/ 理系を問わず求められる能力として;

1. リテラシー(データ分析/ 推論構築能力, 論理的文章表現力, 並びに外国語コミュニケーション能力)
2. 論理的思考力並びに理想と有益性をきちんと考察できる規範的判断力
3. 上記2.をベースに社会システムを構想・設計する力
4. 課題発見・解決能力

を挙げています。

https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/028_honbun.pdf

上記のような能力を備えた人材こそが“グローバル人材”であり、こうした人材の基礎となるのが;

1. 語学力(高い外国語運用力)及びコミュニケーション能力
 2. 主体性・積極性, チャレンジ精神, 協調性・柔軟性, 責任感・使命感
 3. 異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー
- です。(2011年6月22日, グローバル人材育成推進会議)

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/110622chukan_matome.pdf

つまり、“異文化や自分と異なる思考法を理解しながら外国語を活用して相互に刺激し合える力”なのです。

これらは全て、多感にして柔軟な考えを持っている高校時代の

留学が基礎となって身につく力なのです。

最後に、“義務教育年齢に該当する長期滞在子女”は;

海外での学校や生活に適應しながら、異文化を通じて多様な考えや価値観、語学力などを身につけており、よってグローバル人材の素養を体得している - とされています。

(2017年6月30日, (一社)日本在外企業協会, (一社)日本貿易会, (公財)海外子女教育振興財団)

https://www.jftc.or.jp/proposals/2017/20170630_1.pdf

つまり、1. 海外と比較した日本の良さを体感している

2. 複眼的なものを見方ができる

3. 現地でマイノリティとして困難を乗り越えた経験を持っている

} のです。

修了後は帰国して元の高校に戻って頂きますが、その後の進路としては…

1. 日本の大学に
 - i. 一般入試枠で受験して入学する
 - ii. 英語外部試験(英検, IELTS, TOEFL 等)の高スコアをもって“特別枠”で受験, 入学する
2. 海外の
 - i. 大学に高い語学力, 高校での履修科目, 志望理由書の提出により入学し, 卒業を目指す
 - ii. 短大/ 高等専門学校に同様に入学し, 卒業後
 - a) 日本の大学へ編入学する
 - b) 海外の大学へ編入学する

といった多くの可能性が広がっています。

ぜひ、お近くの地区青少年交換委員会メンバー、或いは岡崎 利昭(地区青少年交換委員長, 熊本城東 RC, okazaki@aye.jp/ tel. 080-2714-1793/ fax 096-331-0341) までお気軽にお問合せ下さい。

お申し込み締め切りは2020年10月10日(土)となっております。

以上